

## XII 令和6年度に行う試験研究課題と関連事業

資源循環利用による健全な森林育成、県産材の加工利用技術の開発等に関わる試験研究等を行う。

### 1 試験研究課題

試験研究項目・課題名	予算額 (千円)	財源	研究 期間	研究内容
1 健全で豊かな森林づくりに関する研究				
(1) 荒廃農地林地化のための適地判定技術の確立 	297	県	R5～R7	荒廃農地の林地化のために、土壌条件等による最適な植栽樹種の選定及び林地化に必要な作業等の判定技術を確立する。
(2) 鳥取県の環境に適したカラマツ初期保育技術の確立 	737	県	R5～R7	耐雪性や下刈りによる成長への影響を把握することで、鳥取県の気候条件に適したカラマツの初期保育技術を確立する。
(3) 再生林の推進に向けたコンテナ苗の通年植栽試験 	884	県	R3～R6	本県の気象条件におけるコンテナ苗の植栽時期の限界を明らかにする。
(4) ナラ枯れ跡地における更新に関する研究 	869	県	R4～R7	過去のナラ枯れ跡地の植生状況を調査することで、ナラ枯れ跡地の健全な森林への回復判定指標を作成する。
(5) 山地災害リスクを考慮した森林整備手法の検討 	698	県	R4～R6	斜面崩壊防止に重要な役割をはたしている「要木」の保全・育成方法について検討し、災害リスクの高い場所での土砂移動抑制効果を維持した効率的な森林整備方法を確立する。
(6) 山地災害リスクを考慮した適正な作業システムの選定技術の確立 	688	県	R3～R6	山地災害リスクを含む山の地形条件に応じた作業システムを適正に選択する手法と架線系を選択した場合の効率的な作業ポイントの設定手法について検討する。
(7) 無花粉スギ等の着花特性等調査 	220	国 (受託)	R4～R6	林業試験場が開発した無花粉スギ等の着花特性調査及び種子生産特性調査を行う。
(8) 山地災害リスクを考慮した森林路網整備に関する研究 	150	国 (受託)	R4～R6	国土保全と林業振興の両立を実現させるため、山地災害リスクと経済性を考慮した路網評価に関する研究を行う。
小 計	4,543			

試験研究項目・課題名	予算額 (千円)	財源	研究 期間	研究 内容
2 県産材の利用拡大に関する研究				
(1) 県産スギ大径材の製材や乾燥における品質の向上に関する研究 	945	県	R5～R9	スギ大径材の製材時の挽き曲がりや乾燥時の変形を抑制する手法を検討し、スギ大径材の利用促進を図る。
(2) CLTのラミナの乾燥品質向上に係る研究 	990	県	R4～R8	CLTを構成する素材であるラミナ(挽き板)の品質向上と県産CLTの普及を拡大させるため、ラミナの乾燥技術の確立を図る。
(3) 鳥取県内に造林されたカラマツの育成状況と材質に関する研究 	1,349	県	R4～R7	県内で植栽が進んでいるカラマツの生育に適した環境と材質特性を明らかにすることにより、県内における造林樹種の選択肢の拡大を図る。
(4) 県産材の建築用途を広げるJAS規格材の利用技術に関する研究 	1,089	県	R2～R7	県内で生産されるJAS規格材について、市場で入手しやすい寸法での材料品質及び接合性能を明らかにし、製材品生産や建築設計に必要な基礎資料を得る。
(5) 樹齢に応じた「県産スギ材の良さ」に関する研究 	517	県	R2～R6	適材適所での利活用の推進による県産スギ材の付加価値販売を目標に、県産スギ材の樹齢に応じた材質特性(良さ)を数値的に明らかにする。
小 計	4,890			
《試験研究費計》	9,433			
《管理運営費》	19,169			
《施設整備費》	4,145			
合 計	32,747			

## 2 関連事業

事業名	担当者
(1) 林木品種改良事業	玉木 操、柴田 寛、赤井広野
(2) 種苗安定生産対策事業	柴田 寛、玉木 操、赤井広野
(3) 森林病虫害等防除事業	池本 省吾
(4) 酸性雨モニタリング調査委託事業	池本 省吾

## 3 臨時的調査研究事業

生産現場の突発的な技術課題の解決、本格的な試験研究を実施する前の事前調査、研究素材の蓄積や研究員の資質向上等に必要な試験研究を、迅速かつ柔軟に実施する。